



第2回広野町議会定例会 “幸せな帰町”への道のり

平成27年第2回広野町議会定例会が6月10日（水）、11日（木）2日間の会期で開催されました。遠藤町長は、初日の10日に第1回定例会以降の町政経過報告を行いました。町民の皆さんにお伝えしたいことがたくさん盛り込まれていますので、主な内容の抜粋を掲載します。

総務課

4月8日に、県立ふたば未来学園の開校式・入学式終了後に、**内堀県知事と広野町議会議員の皆さまとの意見交換会**を行いました。直接県知事の考えを伺える貴重な機会となりました。4月27日に、中央体育館2階会議室において、**行政**区長会議を開催いたしました。本年度の各課重点事業などの説明を行い、行政区长より事前にいただきましたご質問・ご要望に對しまして、回答書を作成し配付いたしました。



改選された行政区長による行政区長会議

4月および5月に、各いわき市内仮設住宅、広野町公民館において、計12回の**住民説明会**を開催いたしま

した。長期化する避難生活の中、4月には延べ130人、5月には延べ150人の町民の皆さまにご参加いただき、直接対話をする機会となりました。その際いただきましたご質問、ご要望につきましては、現在回答書を作成しており、7月中に町民全世帯へ配布する予定となっております。



4月、5月に12回開催した住民説明会

6月6日から7日までの日程で、町制施行75周年記念、**第31回広野町民会**を「善光寺参拝と世界遺産富岡製糸場・戸倉上山田温泉ふれあいの旅」と銘打って、実施いたしました。震災以降初めてであり、222人の参加を得て、町民の親睦と融和を図り親交を深めるふれあいの旅を楽しむことが

復興企画課

昨年より、Jヴィレッジの再開を目指し、福島県や地元の広野、楡葉両町、日本サッカー協会、東電などと再開に向けた課題の整理、施設のあり方を担当者による7回の会議と副町長を委員とする会議を3回開催し協議してまいりました。その結果、**新生Jヴィレッジ復興・再整備計画**をまとめ、平成31年4月までに全面再開を目指すこととなりました。



広野町における商業環境整備に関する覚書調印式

4月24日には、イオンリテール株式会社東北カンパニーと**広野町における商業環境整備に関する覚書調印式**を行いました。本覚書の

目的は、町民の帰町促進のため、住民サービス向上の一環とした商業環境整備などに関し相互協力し、さまざまな取り組みを進めていくものであります。

5月25日には、議会の皆さまのご臨席を賜り、町と清水建設の共催による、**広野駅東側地区開発事業に係るテナントビル新築工事の起工式**が挙行されました。これは、廃炉、中間貯蔵関連の復興事業所などのオフィスビルを建設し、双葉地方の復興の拠点としての役割を果たすことにより、世界が注目する浜通り・福島島の復興再生に貢献していくものであります。

次に、最近の復興企画課企画のイベントについてご報告させていただきます。4月4日には、NHKおかあさんといっしょ宅配便「ポコポットイト小劇場」がリニューアルされた**広野町中央体育館**において開催されました。当日は、大勢の家族連れでにぎわいました。



改修した中央体育館で行ったポコポットイト小劇場

4月11日には、二ツ沼総合公園にて**観桜会**を開催いたしました。同公園のグラウンドオープンに先駆けて、公園内の桜を町民の皆さまといっしょに観賞し、交流を図ることを目的に実施いたしました。当日は、多くの町民に豚汁とおにぎりを無料配布し、お花見を楽しみました。

4月11日には、二ツ沼総合公園にて**観桜会**を開催いたしました。同公園のグラウンドオープンに先駆けて、公園内の桜を町民の皆さまといっしょに観賞し、交流を図ることを目的に実施いたしました。当日は、多くの町民に豚汁とおにぎりを無料配布し、お花見を楽しみました。



観桜会で花見を楽しむ町民

5月3日には、二ツ沼総合公園グラウンドオープンin

ふれあいフェスタを開催いたしました。震災後福島第一原子力発電所事故の収束作業に向けた企業の拠点となり、しばらくの間休園しておりましたが、公園内遊具の更新やサイクリングロード等の修繕、芝生広場の復旧が完了したことから、グラウンドオープンと震災前に開催していたふれあいフェスタを併せて実施いたしました。



震災後初めて開催した二ツ沼総合公園のふれあいフェスタ

当日は、ふれあいドームにてオープンングセレモニーに続き、キャラクターショーや俳優石田純一さんによるトークショーを行い、園内では商工会や町民有志、いわき市のパークフェス関係者による出店があり、町内外から約2千人

の来園者が訪れました。**二ツ沼総合公園**は、広域観光の拠点として整備され、当町の情報を幅広く発信する施設と位置付け、交流人口の増加を図り、地域産業の活性化と農産物の地産地消を推進し、さらには、ふれあい憩いの公園として地域住民の利用促進を図っていくものであります。

次に、復興加速化のための要望についてご報告させていただきます。4月10日に、**自由民主党福島県議会議員会ふくしま復興本部**10人が来庁し、復興期間における後半5年間の取り組みについて、自民党の第5次提言に反映させるよう**要望聴取会**を開催されました。当町としては、議長、副議長に同席をいただき、生活再建に係わる12項目を記載した**要望書**を提出いたしました。4月16日には、**額賀自民党復興加速化本部長**が来町され、必要な復興施策について**意見交換**を行いました。

町民保健課

4月28日には、鈴木副知事と面談をし、町民の帰町につながる**生活再建策**を要請してまいりました。5月24日には、平成28年度以降の復旧・復興事業のあり方に関する**知事との意見交換会**が開催され、緊急雇用対策の継続、原子力災害被災地域12市町村に対する優遇措置の地域拡大および復興・創生期間のイノベーション・コースト構想への財政支援を求めてまいりました。

さらに、6月3日には与党から発表された復興加速化のための第5次提言を受け、**広野町・広野町議会、川内村・川内村議会の合同**で、自由民主党本部において額賀自民党東日本大震災復興加速化本部長に対して、帰還実現に向けた生活再建への支援についての緊急要望を行ってまいりました。

5月26日から毎週火曜日、木曜日、午後8時まで夜間の開放を始めました。多くの方にトレーニング機器を活用して運動不足の解消や体力づくりに努めていただきたいと考えております。



保健センターのトレーニングルーム

福祉介護課

「**広野町高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画**」および「**広野町子ども・子育て支援事業計画**」につきまして、各委員の皆さまのご協力により、本年3月に策定いたしました。計画実現に向けた取り組みを本年度より実施してまいります。